

茨城大生インターンシップ研修④

茨城大人文学部3年

和田 明日香

フクロウと客が触れ合えるユニークな喫茶店がつくば市にお目見えし、口コミやネットで県内外に人気が広がっている。

人気を呼んでいるのは、「つくば市館野の「ふくろうの家」(萩島絹代さん経営)。萩島さんの自宅脇に2013年9月オープンした。

店内は約20畳分のスペースに止まり木やテーブルが配され、常時20羽程度のフクロウが見られ

る。フクロウはモリフク、阪、仙台などから訪ねてロウやメンフクロウなど、大きさは小さくもいる。

ど、大きさは大小さまじく、萩島さんはもともと自宅でモリフクロウを飼っ

つくばのフクロウ喫茶

自由な触れ合いの魅力

ロウと自由に触れ合うことができ。喫茶はドリ

ンクバー形式。来店するのは女性が多い。萩島さんによると、

ほとんどは店を口コミやネットで知り興味本位で訪れるという。都内や大

客の大半は初めは口コミやネットで聞き付け興味本位で訪れるが、フク

ロウとじかに触れ合ったことでもリピーターになる

人も少なくない。去る2日来店していた20代の2

人連れの女性は「店に来るのは2回目。フクロウにはもともと興味があっ

ており、趣味が高じて数人が、じかに触れ合えて魅力にはまりそう」と話していた。

ロウの魅力について、萩島さんは「頭が良く、愛情表現も豊か。懐くと近付

きたり、構ってほしくて寄ってくる」と話す。

研修を終えて

新聞の価値を再確認で



きた2週間だった。どの局も仕事に誇りを持っている印象を受けた。デジ

フクロウとの触れ合いを楽しむ来店客—つくば市館野